

平成23年度
新潟県立大学

公開講座

新潟で 東日本大震災を 受け止める

幾度もの大震災の経験をもつ新潟県は、東日本大震災においていち早く支援を表明、多くの被災者を受け入れました。今回の大震災及び原発被害は、決して本県に無関係なことではありません。公開講座では、地域と災害・復興という新潟及び東北の経験を、今後の地域づくりに活かすべく、情報発信していこうという試みでもあります。

参加費
無料

主催／公立大学法人新潟県立大学 後援／新潟県、新潟市、新潟日報社、NHK新潟放送局

第1回 新潟から 危機管理を再考する

津波でんでんこ。生死を分けたのは自ら考え、行動せよという伝承。経験と事実から「東区では」を考えましょう。

日時 平成23年10月2日(日)
13:30~16:00

会場 新潟市東区プラザホール

第2回 新潟で 核問題を考える

歴史学研究者と国際政治学者の視点から、広島での被爆体験と原発、国際的な核問題についてお話しいたします。

日時 平成23年10月19日(水)
15:00~17:00

会場 新潟県立大学 1313講義室

第3回 災害文化を 継承する

過去の災害の教訓が、私達の生活基盤である地域復興の中でどのように継承されてきたのか、されていくべきか？

日時 平成23年10月29日(土)
13:30~16:00

会場 新潟県立大学 1313講義室
共催／新潟県生活文化研究会

第4回 南相馬市からの被災地 「子ども支援」の報告

県立大学プログラムを含めた被災地子ども支援の実際と、その後の放課後児童たちのようすを報告します。

日時 平成23年11月26日(土)
13:30~16:00

会場 新潟県立大学 1313講義室
共催／みらい子育てネット・新潟

新潟で東日本大震災を受け止める

● 第1回 ●

新潟から危機管理を再考する

日時／平成23年10月2日(日)
13:30～16:00
会場／新潟市東区
プラザホール
新潟市東区下木戸1-4-1
(バス停「下木戸」下車)



鈴木忠治氏(新潟市東区桃山校区コミュニティ協議会会長)・
本田加代子氏(新潟市東区副区長)・細貝和司氏(新潟県防災局
広域支援対策課長)とフロアとのトーク
進行／田口一博(新潟県立大学国際地域学部准教授)

● 第2回 ●

新潟で核問題を考える

日時／平成23年10月19日(水)
15:00～17:00
会場／新潟県立大学
1313講義室
新潟市東区海老ヶ瀬471番地
(バス停「県立大学前」下車)



講師／加納実紀代氏(敬和学園大学前特任教授)
佐々木寛氏(新潟国際情報大学教授)
進行／小谷一明(新潟県立大学国際地域学部准教授)

● 第3回 ●

災害文化を継承する

日時／平成23年10月29日(土) 13:30～16:00
会場／新潟県立大学 1313講義室

※地図は第2回会場と同じ

講師等／三宅諭氏(岩手大学准教授)
飯野秋成氏(新潟工科大学教授)他
進行／渡邊令子(新潟県立大学人間生活学部教授)

● 第4回 ●

南相馬市からの被災地「子ども支援」の報告

日時／平成23年11月26日(土) 13:30～16:00
会場／新潟県立大学 1313講義室

※地図は第2回会場と同じ

講師／横田美明氏(南相馬市教育委員会事務局 幼児教育課子ども企画係長)
青木理絵氏(南相馬市放課後児童クラブ 指導員)
進行／植木信一(新潟県立大学人間生活学部准教授)

平成23年度新潟県立大学公開講座

参加申込票

FAX025-270-5173 新潟県立大学 地域連携センター宛

切り取らずにFAXいただくか、電話(025-368-8373)またはe-mail(unpreco@unii.ac.jp)で
必要事項をお知らせください。

① 希望
日時・場所

新潟から危機管理を再考する
10月2日(日) ■ 新潟市東区プラザホール

当日保育を希望
(保育希望 名・年齢)

新潟で核問題を考える
10月19日(水) ■ 新潟県立大学 1313講義室

当日保育を希望
(保育希望 名・年齢)

災害文化を継承する
10月29日(土) ■ 新潟県立大学 1313講義室

当日保育を希望
(保育希望 名・年齢)

南相馬市からの被災地「子ども支援」の報告
11月26日(土) ■ 新潟県立大学 1313講義室

当日保育を希望
(保育希望 名・年齢)

※当日保育については予約制とします。一週間前までにお申し込みください。(1歳以上、10名まで)

② 氏名または
事業所名

(計 名)

③ 住 所

④ TEL